

□ アナリスト週間相場予想

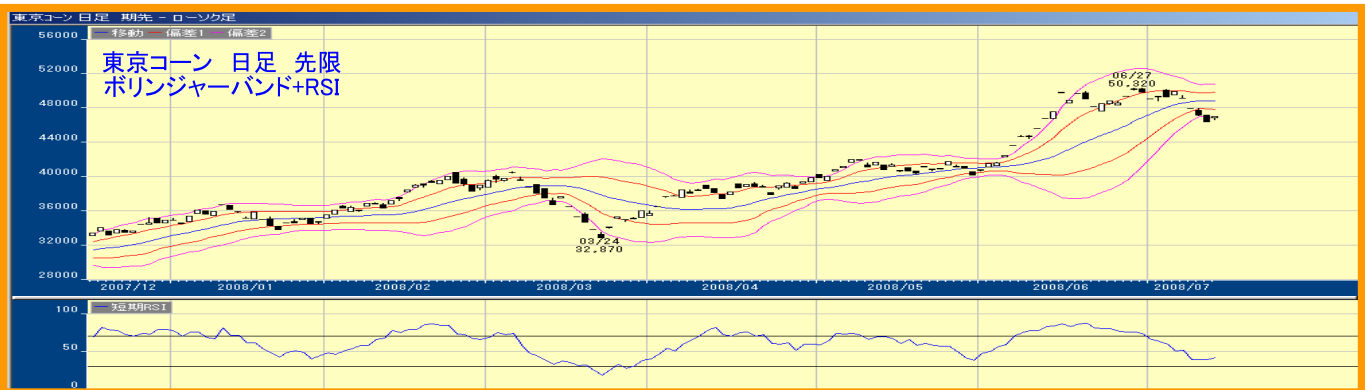
	コーン Corn	大豆 Soybean
江崎		
西		

Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 7/11 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
- 14 米農務省 (USDA) 週間輸出検証高
USDAクロープ・プロGRESS
- 17 USDA週間輸出成約高
- 18 CFTC建玉明細

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京コーン先限日足である。7/9にサポートライン47640円(6/23安値)を下方ブレイク。ここをネックラインとしたWトップを完成し現在下降中である。上の日足にボリンジャーバンドを被せると7/9に収束した後、拡散開始となっているのが見て取れる。7/10・11とマイナス2σ上を這って日足は下降中であり、テクニカル分析的には下降バンドウォークを開始していると見ることができる。ただし現在の値位置は6/5~6/27までの上昇バンドウォークを含む上げ幅の丁度半値押し(46400円付近)の価格帯である為、46000円ミドルを下方ブレイクするのを確認してからの売り参入のほうが無難な仕掛けであるといえる。一方内部要因的にはテクニカルサインに反して強く、売り方当業者の買戻しがここ数日観測されている。もしもマイナス2σラインから大きく乖離して下落する場面があった場合は値段を支える結果となるであろうこれら当業者筋の大量買戻しが誘われる可能性が高い。一旦当業者筋の売り玉が離脱してしまえばそのままV字切り返しも充分想定できる。大きく下降後急騰のシナリオを当方予測する。大豆は堅調押し買い。(7/11前引け現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

この原稿を書いている時点では、7月需給報告の結果が判明していないため、場合によっては相場観が大きく変わることもあると前置きした上で、現状把握をしておこう。まず、今月の発表では作付(収穫)面積は6月末発表時点の数値がベースとなるため、供給面で修正があるとすれば、①旧穀の期末在庫、②イールドの2つとなる。6月末に発表された四半期在庫をもとにしたシミュレーションから、①に関してはコーンは上方修正、大豆は横ばいと市場筋は予想している。②に関しては、米農務省の試算を読みづらく、これがイレギュラー要因となる可能性が高い。例えば、インフォーマ社はコーンのイールドを152ブッシュェル、大豆を41.9ブッシュェルとの予想を出しており、6月需給報告の内容とは特にコーンがかけ離れている。洪水の影響を市場は勘違い(過大評価)していた可能性が指摘されていたわけであり、最近のコーン売りの背景はこの作柄改善見通しと天候にあったと見るべきであろう。

また、需要面に関しては、コーン・大豆ともにレーショニングが避けられないものと考えられるべきだが、影響はよりコーンに強く出ているものと思われ、結果として需給報告はコーンに弱気、大豆に強気に傾くものと推測される。これが現状だが、こうした見方は大部分が市場に織り込まれているだけに、発表後のシカゴ市場の反応は読みづらい。

なお、天候要因に目を向ければ、週末から来週末にかけての予報は前半が晴れ、後半は一部で降雨となっており、市場の評価も定まりにくいか。受粉期を迎えたコーンにとっては天候相場の本格的な場面となるため、意外にも需給報告はスルーされるというシナリオも想定しておく必要もあろう。イベント前にはリスクを抑えるのが筋。

◆添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年7月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年7月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)